

SEO

最新動向
と対策

MONTHLY
SEO
MAGAZINE

AIが導くGoogle検索の未来

GoogleはBardをはじめとした生成系AIのサービス改善に奔走している。その他にも、Google Search Console(GSC)の見直しなど、従来の自然検索結果でも改善を行った。8月号ではGoogleが実施した改善内容をもとに今後のアクションを整理する。

Google Bardの活用ケースが拡大

Google Search Generative Experienceの追加機能がリリース

Google Search Consoleのインデックスレポートが詳細化

08

2023 | AUGUST

C/NC

月刊

SEO

最新動向
と対策

MONTHLY
SEO
MAGAZINE

08

2023 | AUGUST

01 今月のトピック

Google Bardの活用ケースが拡大

Google Search Generative Experienceの追加機能がリリース

Google Search Consoleのインデックスレポートが詳細化

その他SEOの最新情報

02 推奨アクション

03 会社概要

04

05

15

23

29

34

37

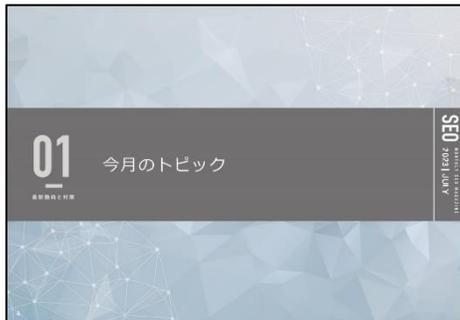


AIが導くGoogle検索の未来

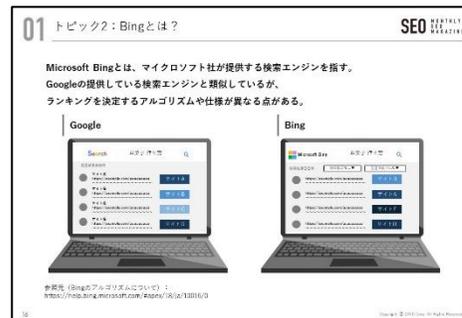
SEOにおける「最新動向」と「対策」がわかるWebサイト運営担当者必見の“毎月”のレポート



- Googleの最新リリース情報を担当者レベルで分かりやすく解説
 - ✓ 最新機能の説明
 - ✓ 具体的な実装方法



- 過去のトピック
 - ✓ UAからGA4への切り替え
 - ✓ Microsoft Bingの進化
 - ✓ Google生成系AIプロダクトの最新アップデート情報



01

最新動向と対策

今月のトピック

SEO
MONTHLY SEO MAGAZINE
2023 | AUGUST

トピック1

Google Bardの活用ケースが拡大

リリース概要

- ✓ 対応言語としてアラビア語や中国語が追加され、利用可能な国もブラジルやヨーロッパ全土に拡大された。
- ✓ Google Bardとの質問回答を他ユーザーと共有するためのリンク生成が展開された。
- ✓ Google Bardの回答文が編集できるよう改善された。
- ✓ プロンプトと同時に画像をアップロードし、抽象的な質問が可能となる（現在は英語版のみ）。
- ✓ 一連の会話をサイドバーにピン止めし、タイトル変更が可能となる。

※P.9～P.11に詳細を記載

参照元：

<https://bard.google.com/updates>

<https://blog.google/products/bard/google-bard-new-features-update-july-2023/>

リリース背景

- ✓ 従来は利用可能な国や言語が少なく、対象ユーザーが限定的であった。
- ✓ Google Bardとのやりとりはテキストのみであり、言語化が困難な質問に対応していなかった。
- ✓ 回答のシェア機能が導入されておらず、周囲に内容を共有することができなかった。



Googleはこれらの制限を改善した新機能をリリース。

Google Bardとは、Googleが開発した対話型AIサービスのことを指す。
Microsoftが提供するBing Chatと利用ケースが重なるが、対応言語や利用可能なブラウザで異なる点がある。

Google Bard

【対応言語】

英語、中国語、日本語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、アラビア語など40以上

【利用可能なブラウザ】

Google Chrome、Safari、Firefox、Opera、Edgium

Bing Chat

【対応言語】

英語、中国語、日本語、スペイン語、フランス語、ドイツ語のみ

【利用可能なブラウザ】

Microsoft Edge以外のリリース情報なし
※一部ユーザーはGoogle ChromeやSafariでも利用できている

Google Lens機能が導入され、画像を活用した抽象的な質問に回答可能となった。



過去の回答を画面左のサイドメニュー上で固定し、タイトルの変更が可能となった。



回答分量の調整や、回答のテイスト（シンプル/カジュアル/専門的）が変更可能となった。



今後の見通し

- ✓ Google Bardの機能改善により、今後Bardの利用者数が増大する可能性がある。
- ✓ ユーザーニーズがAIの回答で完結される場合、検索ランキング以上にAIの回答に採用されることの重要度が増す可能性がある。

推奨アクション

- ✓ Google Bardはごく稀に回答の引用元リンクを表示するため、Bardの回答として採用されるような高品質コンテンツの作成を目指す。
 - ✓ ただし、その有無に関わらず品質の高いコンテンツを作成することは、検索ランキングやユーザー満足度の向上にも繋がるため実施を推奨。
- 質の高いサイトを作成するには、Google公式ガイダンスを参考にする。（P.13に詳細を記載）

高品質なコンテンツとは

以下の要素を含有するコンテンツはGoogleからの評価が高いといえる(一部抜粋)。

- ✓ 専門家や信頼性のある機関の情報をもとに作成されているコンテンツであるか。
- ✓ 各ページの内容が重複しておらず、オリジナリティのあるコンテンツであるか。
- ✓ 文字の抜け漏れや事実誤認がないコンテンツであるか。
- ✓ 公平な立場で作成されたコンテンツがであるか。
- ✓ 詳細情報に不足がなく、十分な情報量が含まれているコンテンツであるか。
- ✓ 独自の調査や分析内容が記載されているコンテンツであるか。
- ✓ 他社へ悪影響を及ぼす可能性がないか、あるいはハッキングされている等有害なコンテンツとなっていないか。

参照元：

<https://developers.google.com/search/blog/2011/05/more-guidance-on-building-high-quality>

その他関連情報

- ✓ 回答の読み上げと共に読み上げ時のトーンを5種類から選択することが可能となる（現在は英語版のみ）。
- ✓ PythonコードをReplitなどのコーディング環境(※)にエクスポート可能な共有ボタンが追加された。

※ソースコードの修正やバグの修正をまとめて行うことができる開発環境を指す。

参照元：

<https://blog.google/products/bard/google-bard-new-features-update-july-2023/>

トピック2

Google Search Generative Experience(SGE)の 追加機能がリリース

リリース概要

- ✓ 回答に引用元のリンクが表示され始めた。
- ✓ 回答に動画や画像が挿入され始めた。

※P.17、P.18に詳細を記載

リリース背景

- ✓ 従前はユーザーからの質問に対し、AIがコンテンツの内容を抜粋・要約したテキストで回答する形式であった。Googleは更なるユーザーエクスペリエンスの向上のため、今回記事のリンクや動画/画像のサポートを開始したと想定される。

参照元：

<https://blog.google/products/search/google-search-generative-ai-august-update/>

回答テキストの文末に参照ページへのリンクが設置されるよう変更された。



テキストに加えて、回答に画像や動画も挿入されるよう変更された。



今後の見通し

- ✓ 動画や画像を掲載したリッチコンテンツがAIの回答として引用され始める可能性がある。
- ✓ AIの回答に掲載された引用元のリンクからページに流入するユーザーが増加する可能性がある。

推奨アクション

- ✓ SGEに画像や動画の引用が開始されたことから、改めてGoogleが公式発表している画像と動画のベストプラクティスを把握し、適切な設定がなされているか確認することを推奨。

▼動画のSEOベストプラクティス

<https://developers.google.com/search/docs/appearance/video>

▼画像のSEOベストプラクティス

<https://developers.google.com/search/docs/appearance/google-images>

動画のSEOについて

- ✓ Googleはサイト内の動画をインデックス登録した後にユーザーへ配信しているため、Googleが動画を認識できる状態にする。

推奨アクション(一部抜粋)

- ✓ 動画の挿入、コンテンツの作成において以下の観点が網羅されていることを確認する。
 - ✓ 適切なHTMLタグの設置、動画サイトマップの作成。
 - ✓ サポートされているサムネイル形式やピクセルサイズの設定。
 - ✓ 3GPや3G2などのサポートされているファイル形式の指定。
 - ✓ VideoObjectやClipなど動画の構造化データを適切に設定。
 - ✓ 必要に応じて動画を削除もしくは視聴制限の実施。

画像のSEOについて

- ✓ Googleはユーザーニーズとマッチした画像を上位表示させる傾向にあるため、画像をGoogle画像検索用に最適化する。

推奨アクション(一部抜粋)

- ✓ 画像の挿入、コンテンツの作成において以下の観点が網羅されていることを確認する。
 - ✓ ページ内容に適した画像を挿入。重要なテキストは画像に埋め込まず、コンテンツ内で記述。
 - ✓ 関連テキストに隣接する位置に画像を配置。
 - ✓ 作成者、画像の使用方法、ライセンス情報等の構造化データを追加。
 - ✓ WebP画像の使用、画像CDNの使用、レスポンシブ画像の提供、Imageminの使用により、画像の読み込み速度を改善。

その他関連情報

- ✓ 質問への回答時間が短縮された。
- ✓ 回答で使用したカードにページの公開日が表示されるよう変更された。



参照元：

<https://blog.google/products/search/google-search-generative-ai-august-update/>

トピック3

Google Search Console(GSC)の インデックスレポートが詳細化

リリース概要

- ✓ Google Search Consoleのデータ収集方法が改善され、ページインデックスレポートにより詳細な情報が掲載されるよう変更された。

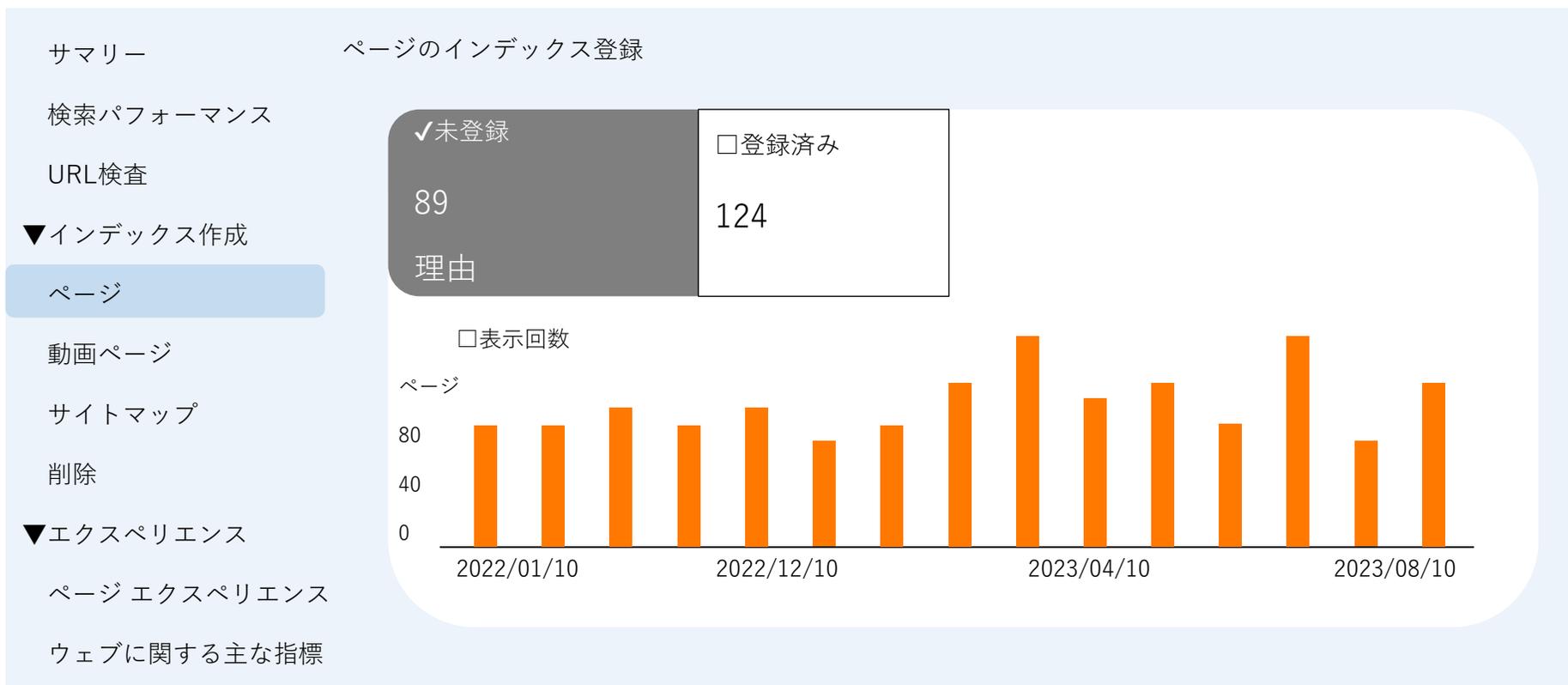
リリース背景

- ✓ 従来のデータ集計方法では、一部の未登録ページがインデックスレポートに計上されていなかった。これを踏まえ、Googleはレポーティング対象か否かの判断基準をより詳細に設定した。

参照元：

<https://support.google.com/webmasters/answer/6211453>

1. Google Search Consoleを開く。
2. 画面左に表示されている「インデックス作成」の「ページ」をクリックする。



3. 「ページがインデックスに登録されなかった理由」から、問題の詳細を確認する。
4. 各問題をクリックすることで、問題が発生しているページ数やURLを確認できる。

i ページがインデックスに登録されなかった理由
インデックスに登録されていないページはGoogleで配信することができません

理由	ソース	確認↓	推移	ページ
代替ページ	ウェブサイト	i 開始前	—	30
ソフト404	ウェブサイト	i 開始前	—	40
ページにリダイレクトがあります	ウェブサイト	i 開始前	~	3
クロール済み - インデックス未登録	Googleシステム	i 開始前	—	20

1 ページあたりの行数 10 ▼ 1~4/4 ◀ ▶

今後の見通し

- ✓ サイトに新たな問題が発生したわけではないが、レポーティング基準が変更されたため、インデックス未登録に含まれるページ数が増加する可能性があるかと想定される。

推奨アクション

- ✓ 自社サイトのGoogle Search Consoleを確認し、未登録ページが急増していた場合、下記URLを参考に「ページがインデックスに登録されなかった理由」を確認・修正する。

▼インデックス登録に関する問題の確認点

<https://support.google.com/webmasters/answer/7440203>

※p.28に詳細を記載

レポートで頻出するインデックス登録の問題をいくつか取り上げ、その対処法を記載。自社サイトの現状を把握し、適切なインデックスコントロールを実施することで、低品質コンテンツを可能な限り排除する。

1 該当するエラーが存在しないが、インデックス登録済みページの総数が減少する場合

robots.txt、noindex、ログイン要求によって既存のページへのアクセスをブロックしている可能性が高い。上記に該当するか各ページを確認後、適切な処置を取る。

2 エラーの急激な増加が見られた場合

テンプレートに変更を加えた際にエラーが混入した、または送信したサイトマップに記載されているURLのクロールがブロックされている可能性が高い。詳細ページをクリックし、該当するエラータイプの説明から最適な処置を取る。

3 404エラーが発生した場合

該当するページが削除されていれば問題ない。該当ページが移動されている場合、新しいページへの3XXリダイレクトを実施。

トピック4

その他SEOの最新情報

PCデバイスでの検索結果にサブドメインのサイト名が表示

リリース概要	<ul style="list-style-type: none">✓ 英語・フランス語・ドイツ語・日本語において、PCデバイスの検索結果にサブドメインのサイト名が表示された。
推奨アクション	<ul style="list-style-type: none">✓ 表示したいサイト名を指定する際にはalternateNameプロパティを使用する。✓ 指定したサイト名が表示されない場合は以下リンクを参照する。 https://developers.google.com/search/docs/appearance/site-names?hl=ja#workaround

参照元：

<https://developers.google.com/search/blog/2023/07/sitenames>

AI生成レビューの禁止が商品評価ポリシーに追加

リリース概要	<ul style="list-style-type: none">✓ 自動プログラムやAIで生成されたレビューはスパム対象となることが商品評価ポリシーに追加された。
推奨アクション	<ul style="list-style-type: none">✓ AIが生成したレビューではスパムと判定される可能性があるため、自動生成したレビューではなく商品購入者が実際に記述したレビューを集める。

参照元：

<https://support.google.com/merchants/answer/13791493>

Googleの検索コマンドであるrelatedのサポートが終了

リリース概要	✓ 入力したURLと類似したページを検索結果に表示させる「related:」コマンドが廃止された。
推奨アクション	✓ 下記表のような「related:」と類似結果を表示する検索コマンドを活用する。

参照元：

<https://twitter.com/searchliaison/status/1681678160491077632>

検索コマンド	活用方法
「-site:URL KW」	特定のURL(自社ドメイン)を除いて、KWがページ内に含まれるものを表示する。
「intitle:KW」	タイトルにKWが含まれるページを表示する。
「inurl:KW」	URL内にKWが含まれるページを表示する。
「intext:KW」	テキストコンテンツ内にKWが含まれるページを表示する。

Googleがシンジケートコンテンツをnoindexするよう推奨

リリース概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ シンジケート(※)をする際、他社ページが自社ページよりも上位表示されることを防止するため、他社ページにはnoindexの設置を推奨する発表をした。 ※第三者のサイトに自分の記事を提供して異なるサイトに同一のコンテンツを掲載すること。
推奨アクション	<ul style="list-style-type: none"> ✓ シンジケート先のサイトに対し、自社の記事をnoindexするように依頼する。

参照元：

<https://www.searchenginejournal.com/noindex-syndicated-content/491213/#close>

GA4のトラブルシューティング記事が公開

リリース概要	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ユーザーの疑問をもとにレポートとデータ探索におけるデータの違いやデータの閾値などがアナリティクスヘルプセンター内の記事で解説された。
推奨アクション	<ul style="list-style-type: none"> ✓ GA4に関するトラブルが発生した際は、下記のリンク内容を確認する。 https://support.google.com/analytics/topic/13614110

参照元：

<https://support.google.com/analytics/topic/13614110>

Bingに新機能が追加

リリース概要	<ul style="list-style-type: none">✓ デスクトップブラウザのBing ChatとBing Chat Enterprise、Bingモバイルアプリでダークモードへの設定が実装された。✓ ローカルからチャットへの画像アップロードが実現された。✓ 新たにChromeとSafariでBing Chatの利用が開始された。
推奨アクション	<ul style="list-style-type: none">✓ ページ内容に合った画像を掲載する。✓ 引き続きBingのリリース情報に注視する。

参照元：

<https://blogs.microsoft.com/blog/2023/07/18/furthering-our-ai-ambitions-announcing-bing-chat-enterprise-and-microsoft-365-copilot-pricing/>

<https://blogs.bing.com/search/july-2023/Bing-Preview-Release-Notes-Dark-Mode>

<https://www.theverge.com/2023/7/24/23805493/bing-ai-chat-google-chrome-safari>

02

最新動向と対策

推奨アクション

項目	推奨アクション
<p>Google Bardの活用ケースが拡大</p>	<p>Google Bardの引用元として採用される高品質なコンテンツ作成を目指す。その際に以下のGoogle公式ガイドスを参考にすることを推奨。</p> <p>▼質の高いサイト作成のガイドス https://developers.google.com/search/blog/2011/05/more-guidance-on-building-high-quality</p>
<p>SGEの追加機能が実装</p>	<p>SGEに画像や動画の引用が開始されたことから、改めてGoogleが公式発表している画像と動画のベストプラクティスを把握し、適切な設定がなされているか確認することを推奨。</p> <p>▼動画のSEO https://developers.google.com/search/docs/appearance/video</p> <p>▼画像のSEO https://developers.google.com/search/docs/appearance/google-images</p>

項目	推奨アクション
Google Search Consoleのインデックスレポートが詳細化	<p>自社サイトのGoogle Search Consoleを確認し、未登録ページが急増していた場合、下記URLを参考に「ページがインデックスに登録されなかった理由」を確認・修正する。</p> <p>▼インデックス登録に関する問題の確認点 https://support.google.com/webmasters/answer/7440203</p>

03

会社概要

最新動向と対策

VISION

マーケティングソリューションで日本を代表する会社を創る

データを様々な分析手法で活用し、革新的ソリューションを提供することで実現いたします。

MISSION

業界スタンダードのプロダクト創出

あらゆるデータを様々な分析手法で活用し、革新的ソリューションを提供することで実現いたします。

利益の最大化

取引先と全従業員の物心両面の幸せを追求します。

プロフェッショナル集団の形成

ビジョンを達成するため、No.1になるため、勝ちきれぬ集団の形成を目指します。

会社名

株式会社CINC（シंक）

設立

2014年4月1日

本社所在地

東京都港区虎ノ門1-21-19 東急虎ノ門ビル6F

事業内容

- ・ソリューション事業
- ・アナリティクス事業

そうきたか。
CINC

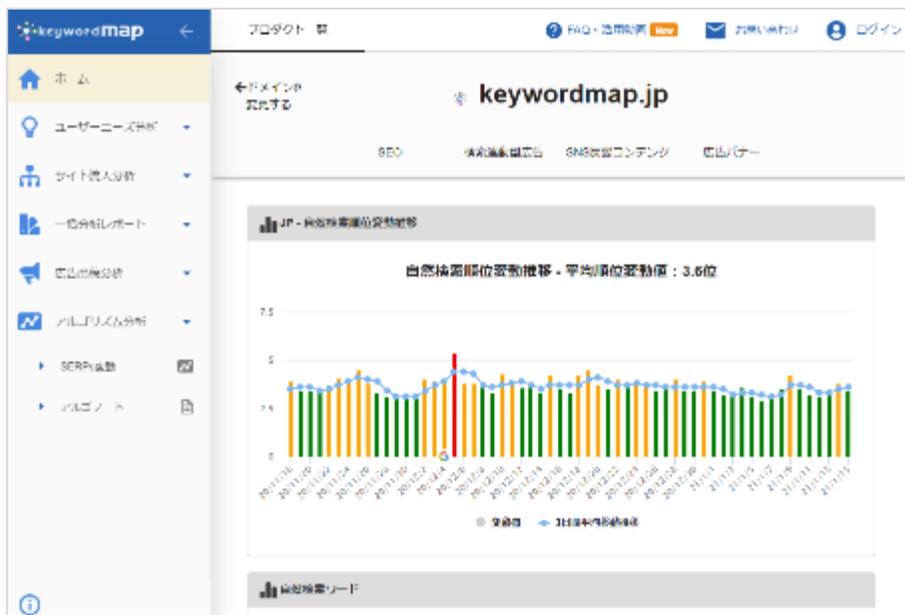
CINCでは一緒に働く仲間を募集しております。◆<https://hrmos.co/pages/cinc/jobs>



【無料】Keywordmapのドメインダイジェスト機能

上記チェックリスト：キーワードやコンテンツの項目などについて、自社サイトの現状を調査できます！

ドメインを入力



順位変動の影響を確認



<https://keywordmap.jp/seoresearch/>

そうきたか。

C/N/C

サイトの流入やサイト経由売上にお困りの方は下記からお気軽にご相談ください。

HP: <https://www.cinc-j.co.jp/contact/> **Mail:** info@cinc-j.co.jp **TEL :** 03-6822-3601

株式会社CINCは、当資料作成には、細心の注意を払い作成しておりますが、情報の正確性、有用性、確実性、適合性、合法性、最新性について、
当社は、一切の保証を与えるものではありません。目的の如何を問わず、本資料の無断複製、無断転載その他二次利用行為等の国内および国外の著作権により
禁止される行為を固く禁じます。そのような行為が発見された場合、弊社は法的措置をとる場合がございます。